

2017年3月

ヒアリング調査ご協力企業・団体各位

厚生労働省 平成28年度働きやすい職場環境形成事業

「職場のパワーハラスメント対策取組み好事例集」ご送付のご案内

前略

平素は多大なるご支援ご協力いただきまして心より御礼申し上げます。

さて標記の件、厚生労働省より委託を受け、弊財団からヒアリングに伺って進めて参りました「好事例集」ですが、内容につき同省より承認を得ましたので印刷・製本を終了し、このほど完成致しました。ここに見本をお送り致します。

お陰さまで、貴社・貴団体をはじめ多様な規模や業種にわたる全国50社・団体の意欲的な取組みの事例を収集し、取りまとめることができました。その節はご厚意により取材をさせて頂き、またその後の細かな校正確認作業や修正依頼にもお応え頂き、誠にありがとうございました。

この「好事例集」は、各都道府県の労働局、労働基準監督署、ハローワーク、都道府県庁の労働政策部局等の行政機関や労働基準協会、同じく各都道府県の経営者協会、商工会議所連合会、中小企業団体中央会等の経済団体、並びに社会保険労務士会に送付されております。これらの機関・団体を通じ、各企業・団体においてパワーハラスメント防止に取り組む総務部門、人事部門、コンプライアンス部門、労働組合、産業保健スタッフ等に広く配布される予定です。

今後、この「好事例集」が日本全国のさまざまな職場において参考とされ、パワーハラスメントの未然防止と働きやすい職場環境作りの一助となることを祈念しつつ、各位のご協力に改めて厚く御礼を申し上げます。

草々

「好事例集」についてのお問合せ先
〒113-0033 東京都文京区本郷 1-33-13-3F
公益財団法人 21世紀職業財団
厚生労働省受託事業担当 大橋
TEL: 03-5844-1663 FAX: 03-5844-1670
jutaku@jiwe.or.jp

厚生労働省
平成28年度
働きやすい職場環境形成事業

職場のパワーハラスメント対策
取組好事例集

平成29年3月

33 スモハラ防止はパワハラ防止に通ず-N 協会

取組みのポイント ① トップのメッセージ…理事長からハラスメント禁止のメッセージを発信 ② ルールを決める…協会内のハラスメント防止規程を作成 ④ 教育する…自主活動グループ「チームSWAN」の呼びかけと「卒煙」チャレンジ支援 ⑤ 周知する…職場内の目立つ場所にポスター掲示	所在地	東京都
	業種	専門・技術 サービス業
	従業員数	約1,300名

協会の背景

当協会は、「日本の健康を創る、“Well-Being Japan”」を掲げ、「労働寿命の延伸」を支援することで「健康寿命の延伸」を図ることを目指し、企業や健康保険組合の定期健康診断・特殊健康診断、特定健康診査、生活習慣病健診、ストレスチェックなどの健康診断事業と、その結果に基づき、健康管理・保健指導、健康増進活動などの健康管理支援事業を実施している労働衛生機関です。

喫煙は個人の自由？

一般に喫煙が健康に悪いことはすでに常識とされており、喫煙人口は長期的に漸減してはいます。しかし、成人の喫煙自体は法的に禁止されているわけではなく、まだまだ個人の嗜好品として存在しています。当会は企業をはじめ社会に対して健康増進を呼びかける団体ですが、職員には、中高年を中心として喫煙者が少なくなかったことも事実です。喫煙は個人的嗜好とされていますが、周囲への健康影響も大きいため、現在では「残業時間を含む勤務時間内は全面禁煙です」(＝喫煙のために業務を止めることはいけません)としています。



スモハラはあらゆるハラスメントに通ずる構図を含んでいた

このような対応に至ったのは、私たち自身が健康増進を目指す団体であるということを改めて確認したことです。残念ながら、少し以前には、就業後の飲酒を伴う職場行事等で、周囲への配慮を欠くマナー違反の喫煙があり、下位者など弱い立場の人たちに、結果的に受動喫煙を強いていたこともありました。その場で喫煙をやめるよう申し入れがあっても「その程度で上げさな」という甘い認識に留まることもありました。

そこにはセクハラやパワハラに見られるのと同じような「無自覚と自己中心性」「他者への尊重の欠落」といった構図が見られたと同時に、職場の優位性を背景にした言動だったとも見ることができ、いわば「スモークハラスメント」であったと言えます。これらの問題を通じて「ハラスメント」に対して、正面から向き合い、解決しなければならないという気運が高まりました。

禁止するだけでなく、寄り添う「卒煙チャレンジ運動」を

このような組織としての「全面禁煙」という強い意思表示とともに、ボトムアップの支援運動もスタートしました。協会の産業保健スタッフを中心とした有志による「チームSWAN(吸わん)」が発足し、依存に悩む職員が「禁煙」(中断のイメージ)ではなく「卒煙」(永遠に手を切る)できるよう、さまざまな情報を紹介し、味方として支援を行いました。

この活動と支援を協会内に広くアピールするために、所内の目立つところ、主要な動線にたくさんのポスターを貼り出していますので、職員はもちろん、来所されたお客さまにもよく見られています。その結果、協会内の喫煙者は減少し、時間外の喫煙マナーの改善も達成されました。

ポスターには「チームSWANへの連絡をお待ちしています!」とあり、メールアドレスとインターネットのURLが記載され、スタッフへの多様なアクセス方法を確保しています。

さまざまなハラスメントの原因は何らかの心理的な要因や依存からくるものもあり、行為者となる本人も苦しんでいる場合も多いものです。それは禁止や取り締りだけでは解決できません。チームSWANはハラスメント問題の相談窓口ではありませんが、違うやり方、違う生き方に一歩踏み出すためには、他者の支援や寄り添いも必要だということを教えてくれていると思います。